



**10月24日(木) 記者懇談会のご案内**

# インド『アウトルック』誌政治部編集者、 マレーシア弁護士会連合会 CEO代理 中国中央テレビ(CCTV) 特派員

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)と国際文化会館は、アジア諸国のさまざまな分野で際立ったリーダーシップを発揮している専門家を日本に2ヶ月間招待する「アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム(ALFP)」で来日中の3名との記者懇談会を開催します。

冒頭のプレゼンテーションでは、日本滞在やプログラムの感想と、事前に頂いたご質問にお答えいただく形になりますので、送付に質問をご記入の上、ご返信くださいますようお願いいたします。多数のご質問を頂いた場合、全てにお答え出来かねますので、あらかじめご了承くださいようお願いいたします。

- 日時 2013年 10月24日(木) 14時～16時  
14:00—14:45 フェロー・プレゼン  
14:45—15:00 Q&A  
(※中国中央テレビ(CCTV)何潤鋒は14:00—14:45の間のみ出席)  
15:15—16:00 個別取材

- 会場 国際文化会館 (東京都港区六本木5丁目11-16)  
最寄駅: 都営大江戸線 麻布十番駅 7番出口より徒歩5分

- 定員 10名 要予約

※ 英語と日本語の通訳(逐次)が入ります。

※ 個別取材は事前申し込みが必要です。多数お申込の場合は取材いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

- 申込方法 別紙の「取材申込書」をFAXでご送付、もしくは  
press@jpf.go.jp へご返信ください。

お問い合わせ: 国際交流基金 担当: 良知  
電話: 03-5369-6075



国際交流基金

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1  
www.jpf.go.jp

## 『アウトック』誌 政治部編集者

### サバ・ナクヴィ Saba Naqvi (インド)



インドの主要な時事週刊誌である『アウトック』の政治部編集者として、インドの国内政治や政府・政党の動き、市民運動、アイデンティティの流動化等をテーマに記事を執筆。ここ数年は、右派政党のインド人民党(BJP)の台頭とその6年間の政権運営に関する記事を中心に寄稿。現在は、暴力的行為に訴える国内過激派組織のイデオロギーや活動に関する出版物を編集している。20年にわたってインド各地を回った自身の経験をもとに、インドの複合的な伝統について著述した *In Good Faith* は2012年に出版されて以来幅広く読まれ、商業的な成功を収めている。ナクヴィ氏は報道番組で国内ニュースについてのコメンテーターも務める。

## 中国中央テレビ(CCTV) 特派員

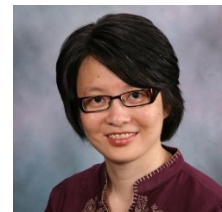
### 何 潤鋒(ハー・ルンフォン) He Runfeng (香港)



1977年中国本土に生まれ、国際関係学およびコミュニケーション学の修士号を取得後、2002年に香港に移住。フェニックステレビの特派員として6年間勤務した後、2010年より中国中央テレビアジア太平洋局の特派員を務める。海外ニュースやアジア太平洋地域の報道企画を担当するほか、米国、北朝鮮、日本、ベトナム、ミャンマー、フィリピン等の国々と中国との関係に注目した *Runfeng Observes* という自身の解説番組を持つ。世界各地で精力的に取材をこなし、これまでに、レバノン侵攻(2006年)、パキスタンにおける対テロ戦争(2007年)、ミャンマー北部での内戦(2009年)、リビア革命、東日本大震災(2011年)、中国と近隣諸国の南シナ海をめぐる領海問題(2012年)、イラク戦争10周年(2013年)など、国際的に重要な事件や出来事を報道してきた。特に紛争報道や災害地報道でその手腕を認められている。

## マレーシア弁護士会連合会 CEO 代理

### チン・オイ・シム Chin Oy Sim (マレーシア)



弁護士としての教育を受け、法の支配と正義を支持することで名高いマレーシア弁護士連合会の人権委員会執行役を経て、現在はCEO代理。市民社会形成における法曹界の果たす役割や、女性の人権が関心テーマ。マレーシアで30年の活動歴を有する非営利組織・女性支援機構(WAO)に所属していた際には、民法とシャリーア法が多民族・多宗教国家マレーシアの女性に与える影響に関するアドボカシー活動に従事。それ以来、一貫して女性の権利に係わる社会運動に携わっている。国連女子差別撤廃条約(CEDAW)にも関心の高い同氏は、同条約を通じて女性の権利実現を目指す「国際女性の権利監視機構(IWRAW-AP)」のトレーナーやリソースパーソンも歴任。海外経験も豊富で、ニューヨークとロンドンではデビス・ポーク・アンド・ウォードウェル外国法事務弁護士事務所、ジュネーブでは国連賠償委員会にて勤務した。

【国際交流基金 記者懇談会 参加申込書】

日時:2013年10月24(木)

FAX 送信先 : 03-5369-6044

会場準備の都合上、必要事項ご記入の上、FAX または Email([press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp))にてお知らせください。 個別取材をご希望の方は通信欄にてお知らせください。

ご出欠	<input type="checkbox"/> ご出席	<input type="checkbox"/> ご欠席
撮影	希望する	<input type="checkbox"/> VTR <input type="checkbox"/> スチール
貴社名		
ご所属		
貴媒体名		
ご芳名		
ご住所		
TEL/FAX		
MAIL		
通信欄	[個別インタビュー希望やご質問がありましたら、ご連絡下さい]	

お問い合わせ:国際交流基金 広報:良知  
電話:03-5369-6075